

会報

表紙、体裁、裁かえして
下さり

校心要す

第 一 号

東京女子大学同窓会
教専会

所 感	小杯薫一	1
近況お知らせ	中谷太郎	2
教専会引く	山下タミ	3
歓迎会の模様		4
おたより		5
研究会より	藤井隆子	15
会 則		16

所感

小林薫一

教尊会が誕生してから約二十年になるが、想えば毎月のたつのは早いものだと思ふ。その向この会がどれだけのことをしてきたかという、それは会の目的や会則にもよることなので一概に批判することは出来ない。しかし戦中戦後を通じてこの会をもち続けられたことは考へようによつては、むしろ不思議のことだと思へる。

だが、争情は一変し終戦後すでに十年を空過し、卒業生の総数も七百名に近いとききている。そして會員相互の向にも年令的のズレもあろうし、時代に対する感覚の相違ということもあるであらう。従来、の会則もなかつた時代の運営方式では、おぼやうにもならず、會員各位も充分満足せえられなくなつたようにも感ぜられる。そこで会の運営にしても総会は新會員の歓迎と講演会とでもかねて年一回位にして、重点はむしろ地域別、グループ別の活動におくべきではなからうか。そして各地域、各グループ毎になにかまとまつた結果へできる範圍内のことを結構でとてきたら、ほかの報告と共に中央にもちより定期的に出版されたらよいと思ふ。もちろん、これは一つの私案であつて皆さんのよりよい意見を聞きかせてほしいと思つてゐる。

さいわい、会則も新しくなると書いてあるので、このさい會員各位の積極的な協力をえて、この会が實質的に有意義のものにならう。

願つてやまない。

以上で、依頼された所感の一端をのべたのであるが、この機会にその後の学内（とくに数学関係）の様子について一言ふれたい。

まず創業時代から本学のために御盡力下さつた国枝、阿部両先生はすでに故人になられた。国枝先生は学科主任として病十年間、また阿部先生は二十六年七月病死されるまで二十九年間教尊のために、その力を惜しまれなかつたのである。あの一言一句も忍がせにしまかつた阿部先生の講義振りも今は皆ごんごんのなつかしい思い出として長く記憶に残ることであらう。

次に教理科のことだが、昨年四月から修業年限が二年から三年に延長されて、この春才一回の卒業生を社会に送り出すことができた。教尊時代の四年制が戦時中に三年制に、それがまた新制度で二年制に、いくどかの變遷を経たが、ここにまた、もとの三年制にもどつたわけだ。だが、さいわい、その後順調な発展をとり年毎に隆盛に向つてゐることは卒業生の方々の力強い後援によるものと深く感謝してゐる次第である。

さいいに、教学研究室の先生方の横顔をのぞいて、筆をまくことにする。

先生、非常に御立派で、学生や卒業生の指導、相談に行届いた心づかいを示されてゐる。又学内では宗教部委員として活躍してゐる。

N先生 少し自慰を加えたが、最近はず真に熱中、夫人の歌に連したとの評判が高い。山登りは先生の趣味。年に数回学生と共に
出かけている。

N₂先生 いつまでも若々しい。趣味も広いがなかなかの芸術家でも
ある。相変らず面倒な仕事をひきうけ学園のために益してお
れる。

K この片田舎に住まっから凡六年になる。中央線の武蔵小金井
駅から徒歩で二十分位のところだが、あたりにはまだ武蔵野の
風景が残っている。この頃バスも通って便利になったから家
づれのおいでをまつ。

魚返講師 東京エ大の先生。ポテンシャル論で一昨年学位をえうれ
本学では実変数函数論および函数論を担当。

小河登講師 氣象研究所の先生。昨年より統計学および統計学演習
を担当。この三月先生の指導によって学生の数名が研究報告を
出すことができた。

根岸先生 湯浅多賀子さん(東大大学院に入学のため退学)の後任
として、この春兼任。昭和二十四年本学数学科の卒業(阪大、
東大大学院を経て)で、講義の一部をも担当している。

(一九五五・五・一二)

近況お知らせ

中谷太郎

校門の銀杏がまた新しい緑に変わって、新入生の学生生活も板につい
てきました。この三月に校門を出られた方々、昨年三月に校門を出ら
れた方々……それぞれの方面で内活動のことと思えます。

銀杏の茂りがよく見える東校舎南端の研究室に移つてからもう五年
にもなりましたか。まるで時計が止まっていたのさばないかと思つて
どあわただしく五年ママがたつてしまいました。めぼしいニュースの
ない毎日と過しています。それで、この頃読んだり見たりして面白か
ったものを並べて近況お知らせに代えます。

一年生 (ある小学教師の記録) 岩波字真文庫

グリークと学校友達 (ノソフ作・福井研介訳) 岩波少年文庫
(一読をおすすめします)

イリソ著 人間の丁史 (先史篇 八住利雄訳) 角川文庫
(古代篇 村川隆訳)

砂漠は生きています

(註) 読み物は文庫本で、映画は吉村祥吉で見ることと原則
としています。

教専会について

山下タミ

終戦向でない頃、教育学部一回卒業の豊泉さん方の提案で、その昔私産が在学中はよく一年生から四年生まで一纏になり教専会と云つて先生方を囲んで親睦会をしていましたことを思い出し、終戦後は一つかりんも心もバラバラになりましたし卒業生も少なくなりましたので、あの頃の教専会のようなものを今度は卒業生が織にならうようにしてはということになりました。そしていろいろ長相談の結果「東京女子大学同窓会教学研究会」といういかめしい、長い名前が決定し豊泉さんに会長になって頂き、私共がお手伝いをしました。そして仕事として通信や名法の発行、講演会などを予定しましたが会費が集りませんので思うことも出来ずにいました。ところが同窓会の片好意で講習会をさせて頂いたりしていろいろうちに豊泉さんの片都合で会長を辞せうれました。その為、バトンが渡されて以来、何かして地方の方にもこちらの様子をわかっていただけたらと思つていましたのに自分の仕事に追われて思うにまかせず、小さいグループの輪流しながらの勉強の会や集合論の講義を多く会など始めましたが、お互いに忙し手向にしていきますのでだんだん忘れ勝ちになり新しい卒業生を迎えら親睦だけの会になっていました。その時、もうこの頃になつたらこの会のあり方について考えた方がよいということになり単に親睦を口からだけののでなくもう少し発展させて行くことになりました。

そして昨二十九年の四月から先生方のお智慧を拜借して会の簡単な規約を作り始め、同窓会の総会の日に総会を開いて承認をうけ、会の名も「東京女子大学同窓会教専会」と改めました。そして三十年度までの役員として左の様に決まりました。

会 長 山下タミ

副会長 藤井博子

常任幹事 今井チエ子 藤井隆子 板原昭子

尚 連絡は同窓会のフラス幹事が当ること

附記(一)

会費調達のために教専前、教専入り純銀のブローチを作り出したのがまだございますので御利用下さい。

附記(二)

研究グループの一つとしてむさしの近辺に在住の卒業生を中心にした家庭婦人の方、中学、高校に取をもつものが一ヶ月に一回集り法政高校の土居先生から実践から得た体験を生かしての巻物の技法と云つたものなどがつていきます。諸外国の例もとられ、ユーモアを交えてお話し下さいます。又私共も現場で困ったことなど持ち出し有効に二時間位を使つていきます。若し御都合のつく方は毎月第一土曜に法政高校で午後二時からしていただきますので御出席下さい。

附記(三)

二三人お集りになり講習会でも何人でも招待ですからお始めになりましたら御連絡下さい。

新卒業生歓迎会の模様

去る三月二十六日(土)の午後、新しい卒業生を迎えて歓迎会、合せて親睦会をキマフテリアにて開きました。

朝の中は雨模様でしたが午後からは明れ変わり、翌朝の曇生も其の陽気に輝いて夕方ぶりに女子大に足を向けようも多く出席しました。先生方や新卒業生には卒業式の翌日のことお疲れのところでしたが、小林・中谷・平野先生をはじめ、新学生二〇名をおよそ五〇名が顔合せました。

二時からの予定が相変わらず女子大タイムで頃から始まり、山下会長の挨拶後、先生方の感話に続いて、会と心をかめるにもえつ生協後輩が互に知り合いたいという立場で出席者一人々々各自紹介を致しました。それをれの生活状態や理想を述べ、殊に古い卒業生が校友会の在り立ちや、或は過去を通じての経緯に對する思いやりのある提言など、お互に交なつたことと更にお互い、新卒業生も卒業の挨拶を述べられ、卒業生五つ若ましさを感ぜられました。

又この会では親睦に重きを置きましたので大半はゲームで時を過しました。デニスチキマーでは後輩の活躍が、しほ渡校ぶりもあり、記憶力を生かすゲームでは、さすが数学の方も大分頭をいねつて居られたようです。キマフテリアの片隅には焼火をくりひろげ、水たまりの心を満ちました。

最後にこの日は総会はお休ませませんでした。来年度の会のあり方について意見を述べ合ひ、内容として数学のみにとどまるか、それとも広範の向題を取りあけるかなど話し合ひが進められ、大時過ぎ一応会を閉じました。尚その校士教員は小林・中谷両先生をテニスルに囲んで一時向作り雑談に花が咲きました。

出席いたしました私共、それぞれ日常生活の多忙の中にもなつかしい夜門をくぐり、お互に交り、先生方のあまのりな提言や、私共に対する温かいお言葉を耳にして、一同感謝と喜びの中に家路についたことと、さよならしました。

今後ともは一度多くの方が顔を合せ、交り、励みの中に意義ある校友会を育んでいく心から願って居ります。

出席者

- | | | | | |
|-----------|---------|----------|----------|---------|
| (新卒) 飯野哲也 | 高宮弘子 | 峰尾壽子 | 内藤淑子 | 種村優子 |
| 飯田龍子 | 二宮さな | 交野良子 | 宮島和子 | 佐藤栄子 |
| 川原由子 | 岡田敏子 | 中村敏子 | 佐藤幸子 | 森井紀子 |
| 川井幸子 | 森岡輝子 | 西山優子 | 藤崎金重子 | 小田英子 |
| 一ノ宮中島京子 | 12 清水 静 | 14 矢部程子 | 27 川井香子 | 28 小川和子 |
| 19 山下タミ | 16 柏原淑子 | 20 榎井博子 | 水田洋子 | 岡 光子 |
| 10 安藤寿子 | 17 柳井信子 | 23 谷口 昭 | 越前昭子 | 29 古家久子 |
| 田中隆子 | 田中百合子 | 鈴木 吉 | 29 山下千恵子 | |
| (リガ川) 田弘子 | 今井千恵子 | 26 湯浅多恵子 | 武本栄子 | |
| 赤沼代子 | 佐藤隆子 | 石井睦子 | 金丸妙子 | |

あたしより

新卒業生歓迎会の折お寄せ頂きました。おかしうせを集め、各地で夫々の立場にて御活躍の皆杯への御礼をさせて頂きます。

昭和六年卒

▽三木 隆

御案内有難う存じますが遠隔の地にて大席させて頂きます。

教員より教理科へせし余々御発意、お慶び申し上げます。

何卒先生方、皆々麻にまろしく五ん下さいます。卒業生中の支

り種なる私は、ただ一途に神様の御に生命がけで働いて居ります。

多くの悔める蓋縁の救いの為私へへの神の愛にかうめられて、

「キリストの愛より我を離れしむは誰ぞ」と叫びつゝ。又自ら

如何にもしてキリストの御貌をまじりて頂き度く希し居ります。御

一同杯をこれの立場に御方請のほど。

昭和七年卒

▽飯田 悦子

年々に教員会のおおきく御礼を申し上げます。母校の

二十年、随分おぼろさんになりましたが依然として十六歳を下らず。

八身身なりオともせめて十四歳にといふ夢も実現せず人生を終りさ

うです。二十年近くも油きき、お放りっぱなされた頭はさびついて

一向に勿かお高校の教員などかても茫然として何も分りませんので

恥しいと思つて居ます。

戦後の東京もしうめ田舎者になりましたが一度上京してム度いと

思つて居ます。御礼していつにならでせう。どうも諸先生はじめ皆杯

へよろしく御礼申し上げます。

▽樋口 千嘉

祈しく卒業される皆杯の御多幸をばるかに祈り上げます。此の頃

のうつつとした社会に期所出来るのは若い方々の力だけの杯にあり

まいます。それとなかなかと身吹くことの出来ない現実のさびし

さを近頃特々氣じて居ます。

▽浜島 衣子

……久し振り先生始め同窓の皆杯にお目にかゝり度くくり合せて

出席するつもりで居りましたがその頃田舎の親類の番が上京する手

になりどうしても都合つかなく残念下ら又大席のやむなきに至りま

した。教員会委員の方のお骨打を感謝すると共に新卒業生に心から

お祝いを申し上げます。

昭和八年卒

▽梅垣 安子

……先生方も訪れ又目出度い御多幸の程を承りましたね。二十

何年前の自分達の争を思い出してありませぬ。新築がたつたばかりで、
畢竟の躍進ぶりを是非一度拜見したいもので、
えられる争と采し方にしてはいます。

遠かより母校の発展を祈つて居ります。

▽若山 敬乃

こんな遠くのものに迄わざわざ御丁寧に御招待状頂き恐れ入りました。
荷造り片付けとごたごたして、いるうちはよかつたのですけど
落付いて来ますと淋しい位の所です。三日に高三三回平の中村美代
子さんのお宅で歓迎会を聞いていただきました。梅垣さん、荻野さん、
／＼新平の台島孝子さんと采しい半日を過しました。こちらは教専平
生も少く、切に東京の方々の御活躍を希望いたします。

昭和九年平

▽荻野 シメ子

大部よい時候となつてまいりましたが御案内いただき有難う存
じました。折角ですが此の度は上京いたしかねますので出席出来ま
せんので、思しからず思し申し下さいます。

追伸 私住所は往吉町[×]方代ではなく大阪市住吉区[○]方代東五丁目
二〇です。

▽都筑 ゆきえ

当日は止むを得ず用事がございまして折角の御招きにお答え致し
兼ねますことをお詫い申し上げます。

昭和十年平

▽奥田 加子

教専会のお知らせ有難う存じました。唯今家には受験天学を
いかへて居る長男が居りますので私まで気が落着きませんので今回
は失礼させて頂きます。どうも平野先生、小林先生に宜しくおつた
へ頂き度う存じます。御盛会を祈り上げます。

昭和十一年平

▽河原 恭吾

左記に転居致しました。

函館市 鮫川町二。一 壺岐雄雄方

▽武田 郁子

皆様お寒さにも負けず大変御苦勞様です。お陰様にて元気に暮し
て居ります。

▽鈴木 成子

新しい会員の方をお迎へする時を得て教専会がますます盛んにな
りますことを心から喜んで居ります。

丁度今年末の用事が何かと残っている頃と存じ折角ながら当日は
出席させて頂きます。お集りの先生方として皆様にとりまよりに
お伝え下さいます。

昭和十二年平

▽片岡 ヒナ

昨日の雪には一寸驚きましたが大丈に暖かい冬でございます。

先頃は新卒業生の歓迎会のみ知らせ有難うございました。お近くに
住みながらも学校にも先生方にも御無沙汰ばかり致して居りますの
でこの様な折に出席させて頂き皆様方にお目にかかれたいと思つた
んとうに嬉しいのでございますが土曜日は何時も都合が悪く残念下
ら出席致しかねます。

当日の御盛会をお祈り致して居ります。近況と申しましても殆ん
ど誰方にもお目にかゝる事もなく毎日家事の雑事に明け暮れて居りま
す。気持ちだけは何時までも学生時代と同じつもりでございます。

▽杉 多津子

……先生方お元気の由お呼び伺つて陰乍らおよろこびして居りま
す。私も元気に去る二月四日次女が産れました。その後母と
も経過はよくなりましたが大分同うしくなつて来た称です。四月から又
学校と家庭と大活動をはじめる積りです。

昭和十三年午

▽吉利 花穂

来る二十六日 慈善会残念下り子供卒業式の為欠席致します。

昭和十四年午

▽堀 すみ子

……高校の講師として週九時間出ています。外家庭教師もせよと主
婦の役目も果して活躍しております。どうか先生方によろしくお伝
え下さいませ。お願ひ致します。

又新しい卒業生の方々の有志にあらうた前途に幸多かつたことを

心よりお祈り申し上げます。なほ夏休みの頃に講演とか短時日の講習
といったようなもの、御討議はないでしょうか。又教専会の討議
はどんなものがありますか。

▽森 昭子

……いつも片栗内を頂くばかりで出席出来ないのが残念の極です
が何卒出来るだけ沢山研究会を拜りて心から話し合える会に成長し
て下さることを私もその中にはおしらせと共にとんで行ける日の来る
ことを待ち望んで居ります。現在当地金城学院中学校にて週二十時
間の講師、家庭持ちには誠に恵まれた境遇に感謝しつつ、理解して貢
小ことのむづかしさに頭を悩まして居ります。

昭和十六年午

▽伊岡 美穂子

片無沙汰して居ります。二月に漸くお近くまで越して参りまし
たが流感にかかりおと神聖痛などで少々具合悪くお近くになつたの
で飛んで行きたいのですが、今回は残念下り欠席致します。

東京都 中野区 向台町 三五 向台住宅 RA-13号

昭和十七年午

▽青戸 玲子

……子供が次々と流感をいたしましたので暫く外出は具合はせよ
うと存じます。廿六日も欠席致します。

▽片口 節

春の訪れと共にもう卒業の時節が参りましたね。遠路の為折角の

歓迎会に欠席させて頂きましたが遂に新卒業生の準備を概観申し
上げます。馬蔭様にて私も元気を教職生活に努めて居ります。馬家
心下でございます。

▽佐々木 幸子

……入試の採点が終わったところ、今年採定委員で何時になく
目が回る程忙しい思いをしました。すっかり荒血した目の為又医看
通いしています。スキーどころではなかつたわけです。それにスキ
ーに行くつもりでレコード購はうとい小争になつたらしいので。

昭和十八年卒

▽鎌田 碧

只今週四日 私立の高等学校に講師としてつとめています。又去
年に引続き子供の小学校のPTA副会長に選出されましたのでそ
らの方面でも張切つて仕事を致しております。

▽杉原 博子

本年初めより肩かいらうに療養中につき折角のお集りに加え
せていただけません。

▽真島 美津子

春めいてまいりました。諸先生方お健やかなこと存じます。新
卒業生の方おめでとございます。出席出来ませぬことを残念に思
つて居ります。出来ませれば先生方及び同窓の方々のお空実直で拜
見致し度いものです。

佐賀では敬尊出は敬名居りますが一度は全部来まることも出来ま

せん。それを務めて居られるらしく、たゞ吉原(小島 春十七年
卒)さんはしばしばたすねて見えます。昨夏は認定講習で孔を並べ
又しぶりに女子大時代のカビのした本など引き出して突つたこと
です。卒業の頃はいろいろ学び度いと買つていた本もついついそのま
まになる方が多かつたようでございます。吉原さんは学次に勤務し
て居られ、私も最近では時間の余裕も出来ますので、少しづつ、学生
時代を思い出してやつて居ります。あまり一足どきに程度の高いと
ころも出来なかつく学生時代の有難かつたことを今もつて味つて
います。半手に一度でも私塾に学費指針に入内かアウトラインの称
なもので紹介していただける称ひ公報出して頂けたら幸いです。

▽直村 静

……その後は私も元気で学習院女子部に引続き勤務いたしてをり
ますが卒業生が少くて何となく淋しい思いをして居ります。

▽平野 弘

……十八年九月に卒業しましてから二十五年に一度上京して母校
を訪ねて以来ずっとこの京都から出すに居ります。平野先生はじめ
諸先生方同窓の方ともお目にかゝり度いと存じつゝも希いを果さ
ぬまんに毎がごき居ります。京都の美術高校から日吉ヶ丘高校へ
ついで七坪つとの子供達相手の毎日でございます。

▽山本 敏子

……私事只今、三児の母で日々家事に追はれて居ります。が時々親
類の高校生が敬尊と向きに参りその折に又々昔を思い出して度でこ

やいます。四月から長女は小学一年、二女は幼稚園に参ります。長男はこの十九日、瀬二オでマンチヤでかりで眼がはなせません。子守と縫物や編物、洗濯の生活からはやくのがれ度いと望んで居ります。オガ……

昭和十九年卒

▽倉橋 澄子

私は只今労働者婦人少年局婦人課につとめて居りますが、定員の關係で一年九月位つとめて居りますのに臨時でオので、研究所の採女ところに仕事があつたらうかはり度いと思つて居ります。

▽柏木 眞香

お陰様にて健康の方にも昨今漸く自信がつきました。勤めの方は昨年八月正式に退職致し目下全く無為徒食して居ります。もっとも昨年七月以来手伝いの形で居りました仕事（或書物に關する計算）私の健康状態では大変過重でして一箇向ばかり前にそれが終つた所なので当分ゆっくり休む度い気持で居ります。

▽原 美根子

三月二十六日は学校の事務整理の日でございます。卒業生毎の愛持として居りますので整理しなければなりません仕事は沢山ございまして三人共同の仕事でオので放けることが出来ません。本当に残念でございますが家私にせて頂きます。

▽矢部 桂子

丁年間並んでしましまして少し子供の守もはなれて参りましたの

で生活難の分がたまの長空を舞しに伺い度いと思つて居ります。

フランスの人々、伝部台、旅人などはといさゝか恥かしいのですが思ひ切つて来しみに伺はせて頂きます。

昭和二十年卒

▽倉田 美沙

……お返事早くと思ひながら卒業生を振り出す仕がしにまきこまれて気がつきました。本日になつてしまいました。眞に由訳ございませぬ。

今年も東京女子大に二人入札が残念です。毎日入つた落ちたと報告にまいますのでその度にはクビクビしています。落ちて来ると又調査を言ひてやらねばならぬかなかなまになれませぬ。

▽佐々木 澄子

大阪府 泉北郡 高石町 前 五四三 船富が に移転しました。尚現在大阪府泉北郡高石町羽衣の私立羽衣学園高等学校に勤務して居ります。

▽橋渡 スズ子

……仙台の私立尚絅学院の高中学部で数学を教へ始めてから二年近く、いさゝか先生アイフになつて居りますが、のびのびと生徒相手に何と教へて居ります。二年上の八木よし子さんも講師として毎日おいで、心強く思つて居ります。

▽山崎 マツエ

……近況報告日つとめ定の卒業式や入試問題作成の爲、本当にバ

タバタ致して居ると申上げる他何もございません。

▽山本 晴子

又しく長無沙汰致して居りますすが皆様お元氣にあつて居りますか。私もおかげで元氣です。居ります。一同上の長野幸子（ホ下）氏とお隣同志を時々四方山話を致して居ります。

昭和二十二年卒

▽斎藤 睦子

長らく病氣致しました為皆々様にも大変無沙汰致し申訳なく存じて居りますすが今度お彦様にて体力も回復致し一人前に仕上げる様になりました。

▽内山 文子

……泉方勤の主人と満三女になる長女の三又家無争に暮して居ります。勤めのため転任が多いので私は当地方の名所其の他を知ることにかけて居ります。

▽斎藤 篤子

……私は今横浜のフエリス女学院で教えて居ります。教員会には一度も出席する機会がございませんでしたので終身会費その他のことについて大変迷惑をおかけしていると思ひます。それ等のことについて内報で載ければ幸甚に存じます。

▽千本 淳子

……折あしく入院など致しおりました。昨日退院して参りましたのでお返事がおせくなりましてごめん下さいませ。残念なことに早

産を致し子供も男でしたがガラスの箱に入れたりあつゆる手段を致しましたが駄目という様な状態で私も多分会までにつかり回復という争も無理の様ですので欠席させて頂いたでございます。

▽黒川 美佐子

……只今立教女学院小学校に勤めており、小さい小学生と相手に算教・図語・社会・理科などを教えて居りますが教材の準備に追いつて悲鳴をおかけたりすることもあります。でも子供達と共に勉強したり遊んだりしている間は尙ほ尙ほの苦勞も忘れ楽しく時を過して居ります。

▽志尾 成子

……現在五又（幼稚園）と八ヶ月の子供の世話と手後は小学生二人の勉強をみてまして、毎日が目のまわる様で忙しですが、もつと沢山勉強に承てくれたらと懇張った願ひを持って居ります。どうか皆様よい一日をお送りなさいませ様祈り上げて居ります。

昭和二十三年卒

▽山田 晴子

……卒業はもう地方の手を折つてもたない位になりましたのにちえはその度毎に少なくなり会の動きについて行けない有様。小さな統計の研究機関につとめて居りますすが時には皆様いろいろな教えて頂かなくてはと思つて居ります。

▽三根 貞子

……心だんと時代が移るにつれ教員の用語も変つてまいりました。

の様子。例えは牧教が牧業になつたとかいらいろありそうであらう
ますので時々新しく定つた用語等をみ教へ下さいますと有難いと思
います。

▽佐藤 寿々子

本年は長女が小学校に入學致しますので準備などに何かと忙
しく過して居ります。

▽若口 昌子

…… 鉾山町生活六年、専ら家事育児に専心して居ります。

▽矢野 晴美

…… 家の中に取りまして用事におわれて居ります。が新しい知識を
得たいと云ふ意欲は持つて居るつもりです。そこで出来ましたら地
域別に最寄の教員会の方々が集れる様な組織などを作つていただけ
ましたら縦の連絡や親睦もはかれますよいいのではないかと存しま
す。

▽須賀 敏

…… 私も二年ばかり教職に居りましたが、子供が三人にもなり今
は家庭にひっこんで居ります。皆大きくなりました。また仕事もそ
ちたいとたのしみにして居ります。

▽岸本 なぎ枝

…… 私廿四年四月から五年間フレンド学園で働かせていたとい
てありましたが廿九年四月より母校女子聖学院に帰り元気で毎日過
させていたゞいて居ります。

▽荒巻 あき子

…… 長い同社会とも没交渉、会にも長無沙汰して居ります。教
も大学受験生の面倒を少しかたりました。授業でかつかり疎虞致し
て居ります。

▽石原 翠子

此度 「前橋市 高田町 九二ノ一」に職居。

昨年十一月男児が生まれまして育児に専ら居ります。

▽水谷 晶子

…… 本業は主婦からもう七年も田舎の中学教師、百分率、一次
方程式にわけられて愛読の事務の台詞では為難い出来ません。

▽窪田 玲子

…… 私はつと群馬県の女子高校に専任していましたが昨年三月
結婚して東京へ出て参りました。勤口を探しましたが仲間なく、や
つと昨年十一月から都立朝鮮人中高等学校へ入りましたがこの三月
で養教となりましたので日本人教師(約三十五名)は都内の学校へ
散らばる事になりました。が行乞の確定した人はまたほんのわずかで
心配しています。でもどこかへは入れて貰えると思えます。わずか
半年足らずでしたが種々得難い体験をしました。

▽鴨沢 久代

…… 昨年十二月五日産を出産しとくも多忙ですが二月一日から
又東大出版会の編集部に勤めて居ります。仕事、と、勉強、とをど
うも両立させていくのが目下の中心課題です。

▽武藤 睦実

圓二回山形学園に講師として勤務致してあります。

昭和二十四年卒

▽清田 孝子

……私は不つと音楽の勉強を続け今年芸術大学ピアノ科を卒業いたしました。

▽荻野 秀子

未だ療養中でございますのでお返事をいたしません。今月中に肺病の手術を行う予定です。秋頃迄は何とかなるまでの光をみえて来る事と存じます。

▽佐々木 千恵子

……私は相愛から恵林省立音楽技術専門学校に勤務いたしてあります。がまだ何もまとまらず、お返事が遅く存じます。

昭和二十五年卒

▽稻村 富美子

……毎週聴能会を開いて下さることは結構と思っておりますが数学に關する講演会のようなものを合わせて下さる様子を望みます。

▽影山 千代

……子供が一年七ヶ月になつたばかりにてなかなかのわんぱくで却つて皆様の片迷惑になります事と存じますので残念ながら席をさせて頂き度いと存じます。毎日ママに一人のようよう歩き、我が子に産いまくら乳、不勉強な我が身を何時も反省させられて居ります。

▽大矢 トシ子

……大して変わりませんが家の手伝いやアルバイト等に日を送つて居ります。尚希望としては女子大に早く理学部が設置される事を切望致します。

昭和二十六年卒

▽大場 雅子

……私もまだ在米中での親睦会に出席出来ないのを残念に存じます。語学が不自由だと申しながらもお陰様で元気でロスアンゼルス(C・A・U・L)で数学専攻。六月に卒業の予定でございます。昭和二十七年卒

▽尾島 緑

……学校を離れてもう三年になりますが相変わらず元気で会社勤めをして居ります。日頃は忙しさに追われ時を過していますが、無意識の中に学校時代のキリスト教に依るお教への大きな支えとなっている事を自覚し感謝して居ります。

▽猿田 恵子

卒業以来三年間家を家争の犠牲を致して居ります。女性としてどうしてか弱々なりけなならない家争に女子大で学んだ数学を如何にか応用出来ないものかと不可能に等しい様な事を考えて居ります。尚欠序者の為の公の標榜等未知らせ頂ければ幸に存じます。

▽柴 魚子

……私は昨年四月より朝日生命に務め総計部教理課に居ります。

同じ課に廿二年数学科卒業の先輩の菊池弘三さんがいうつしやり、
なにかとめんどろそみていたゞいて居ります。始めて社会に出て学
校生活とまるで違う雰囲気の中で夢中で一年近くおこしてしまいま
した。

昭和二十八年卒

▽村田 敏子

尚様お礼気で各々の道を選んで居られる事と存じます。私共昨年
秋新しい人生の歩を進め平凡な中により良い家庭を築くべく努力致
して居ります。

▽多野尾 美子

ぜひ出席いたし度いところでございますが、私丁度三月末に郷里
の父母に子供を見せに帰りますのでおそろしく出席いたし兼ねますこ
とと存じます。二十八年秋以来平凡な家庭の主婦として過ごして居
ります。現在生後六ヶ月の女児の成長が何より楽しみでございます。

▽木村 和子

……和子は木村君と結婚し現在「宮城県 栗原郡 常沢町 宇
南郡下 久保前 七七」に居ります。

昭和二十九年卒

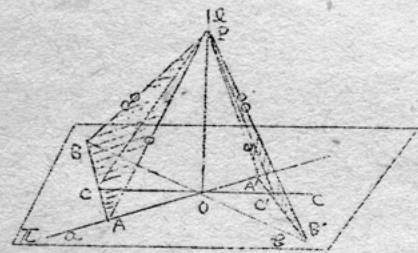
▽笠井 千代

卒業してから早くも一年を経過しました。時々は女子大が懐しく
色々の空想などをながめては思ひ出にふけつたりしております。せ
つかくの産物で残念とは思いますが、お勤めの関係でどうしようと上京

しかねますので卒業させて頂きたいと思っております。現在は小学校の方
に入つて居ります。

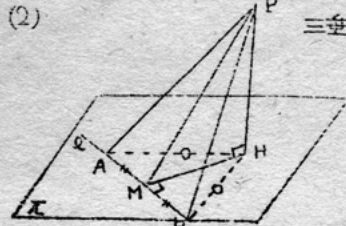
▽宇根 治子

……現在化学繊維協会の技術課に勤め、毎日の仕事と共に余暇を
スキー・スケートに過して元気でやっております。



QはQ、Q、Pは元平
面上とする。Q上に
OA=OA'、OB=OB'
なる如くA、A'、B、B'
をとる。Q上の一点P
とそれ等の点を結ぶとPAA'、PBB'は二等辺三角形となる。し
かも△PAB≡△PA'B'。そこで今△PABをQの周りに180°回転
させると△PABは△PA'B'に重なる。Oを通る任意の直線C
を引きAB、A'B'との交点をC、C'とする。その時△PABの180°回転
でCはC'に重なるからPC=PC'。故にC⊥Q、即ち元⊥Qとなる。

(2) 三垂線の定理の証明
PH⊥元、Q⊥HM。その時、
PM⊥Qとなる事を証明する
Q上にMA=MBなる如くA、B
をとる。△HABは二等辺三
角、故にHA=HB、△PAH≡△PBH 故にPA=PB 即ちPM⊥Q。

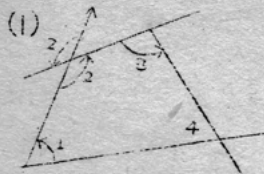


が同じ。一直線に対し等しい角度の方向にひいた二直線は平行である。(高校)「直線外の一方向から

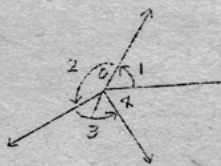
この直線に垂直行は直線は僅一本しか引けぬ」という事。三角形の内角の和は 180° を使って証明して、この事から「一直線に垂直な二直線は平行」という様に導入してゆく。

3. 平行移動と回転を用い

て多角形の内角の和を求める事



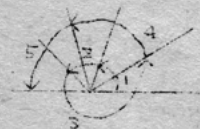
四角形の内角の和を求めるのにこの四角形の内角をO



の様にOの周りに集めてしまう。つまり各辺は直線の回転によつて出来たと考之その回転角をOの周りに平行移動したものである。 $\angle 1 + \angle 2 + \angle 3 + \angle 4 = 360^\circ$

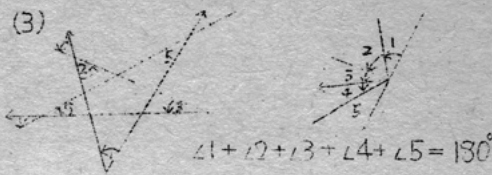


(1)と同じ様な方法をとる事によつて凹五角形の内角の和をも容易に



求めることが出来る。

$$\angle 1 + \angle 2 + \angle 3 + \angle 4 + \angle 5 = 360^\circ + 180^\circ = 540^\circ$$



$$\angle 1 + \angle 2 + \angle 3 + \angle 4 + \angle 5 = 180^\circ$$

4. 等高等底の平行四辺形の面積は相等しい事。



平行四辺形PとQにおいて、底辺と高さ相等しいとする。

XY//XY'なる平行線をP,Qの高さと等しい幅を持つ様に引く。その中に任意にPとQの平行四辺形を書き入れる。その時AB B'A'という四辺形を矢印の方向にABがそれぞれD,Cに重なる所まで、丁度端を降ろす様に移動する。そうするとAB B'A'は丁度DCC'D'に重なる。故にP,Qの面積は等しい。

5. 立体幾何の導入の仕方
一直線と一平面の垂直関係から入り、直ちに三垂線の定理、次に一平面に垂直な直線の作図は如何。この様な方針で進んでゆく。

(1)「一つの直線が平面上の二直線に対して垂直ならばこの平面と直線は垂直である」事の証明。図に於てO1, O2,

~~~~~

幾何学教授法研究会より 藤井 隆子

~~~~~

武蔵野に在住する私達数人のものが何かやさしいもの、研究からという争で教授法の研究をやつたらという争になり、幸い法政高校講師土居音三郎先生の長年御研究になつておられる、移動法による幾何学の教授法を先生の御好意により今年の一月から毎月一回オー土曜午後二時より伺わせていただく機会を得ました。

教えるものにとって幾何程むづかしいものはないと思います。自分が学生であつた時には、幾何が好きでもいざ教える立場に立つて、その面白さを如何に伝へたらよいか戸惑う人が多いのではないかと思います。土居先生の教へ方は、非常に直観を重視しておられますので分り易く、移動による変化の状態を尊重される行き方で、今までの方法を静的とすれば、移動による行き方は動的であるとあつしやつておられます。

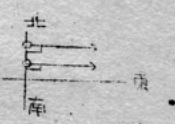
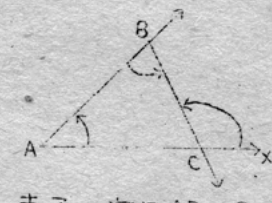
この教へ方はイギリスのGrotfley, Schindler, Barnard, ドイツのGirahler, フランスのAmoits, による教科書の行き方を

参照し、取り入れられておられるとの争です。土居先生のこの教へ方は大膽で素晴らしいと思います。それだけに私達には、追いついて行けない面もあります。けれども古いやり方にはばかり捕われず自由な、新しい教へ方を自分で生み出してゆかねばならぬという刺戟を与えられました。それでは先生の移動法による導入の仕方の多くの面白いものの中から二・三の例を次に御紹介致します。

I. 回転を用いて「三角形の外角はその内対角の和に等しい」争を証明する。

直線AXが $\angle A$ の大きさだけ回転するとABの位置に来る。次にABはBにおいて $\angle B$ だけ回転するとBCの位置に来る。故にBCはAXを $\angle A + \angle B$ だけ回転してこの位置に来たのであるから $\angle XCB = \angle A + \angle B$ である。

2. 平行線の定義
(中略) 両脚は真東に向つて歩み出した二人はぶつかる事



東京女子大学同窓会 数専会 会則

第一章 総則

第一條 本会は「東京女子大学同窓会数専会」と稱する

第二條 本会は會員相互の親和と学術的研究を図ることをもつて目的とする

第三條 本会は前條の目的を達するために左の事業を行う

一 講演会 研究会並びに講習会の開催

二 会誌 會員名簿の発行

三 その他

第二章 會員及び寄附

第四條 本会の會員は左の通りである

- 一 東京女子大学数専攻部 数学科及数理科卒業生

二 東京女子大学に一年以上在学し同窓會員で本会の承認を受けたるもの

第五條 本会の趣旨に賛同する東京女子大学現教員及旧教員はこれを寄附とする

第三章 役員

第六條 本会には左の役員をおく

会長 一名

副会長 一名

常任幹事 三名

幹事 若干名

第七條 会長は會員の推薦したるものによりて幹事會がこれを決定し任期は二年とする

第八條 副会長は幹事會の互選によりこれを決定する副会長は会長を補佐し会長事故あるときは会長の職務を代理する任期は二年とする

第九條 常任幹事は幹事會の互選によりこれを決定する常任幹事は本会の庶務及び會計に關する

事務を処理する任期は二年とする

第

第十條 幹事は各クラス一名とし任期は二年とする

第四章 総会

第十二條 定期総会は年一回会長がこれを招集す 臨時総会は必要に依り幹事会の議を経て開く

ことが出来る

第五章 幹事会

第十三條 幹事会は会員の総意を反映し行動すること

を必要とする

第十四條 幹事会は会長がこれを招集する

第六章 事業

第十五條 講演会 研究会 講習会の企画並びに刊行

物に関する事業は幹事会に一任する

第七章 会計

第十五條 本会の会計年度は毎年四月一日より始まり

翌年三月三十一日に終る

第十六條 本会々員は終身会費として一定金額を卒業時

に納入する

第十七條 終身会費は幹事会で決定するものとする

一年以内の分納をみとめる

第八章 会則の変更

第十八條 本会々則を変更するときは総会で出席者の三

分の二以上の賛成を得なければならぬ

附記 本会則は昭和二十九年より実施する

▽終身会費

昭和六年卒—二十四年卒 二〇〇円

昭和二十五年卒—二十九年卒 三〇〇円

昭和二十九年卒以降 五〇〇円

右の会費はクラス幹事に又は直接女子大内

会計課 今井十子 迄お納め下さい

編 集 後 記

昭和六年沖一回の卒業生より教へてこの会も七百八
近い大在帯となり、今回沖一回の会報を皆様のお手許
におとどけすることが出来ますのを大変喜ばしく存じ
て居ります。

さうやかな試み乍ら今後この会報が会員の間の交流
機関として御利用頂けましたら幸と存じて居ります。
この小さな種が皆様の御協力により大ましく豊かに成長
してまいります様心から祈らずには居られません。何
卒御近況、御研究の結果など教多くお寄せ下さいませ
様紙上をかりて御願ひ申し上げます。

不馴れと手不足などいろいろの理由から十分な内容
をとらせる等の出来ませんでしたことをお詫び致しま
す。

最後にお忙しい中を特に御助力下さいました 黒崎

さん(十二年卒)・今井十子さん(十七年卒)・
喜安さん(十八年卒)・藤井さん(二十二年卒)・
谷口さん(二十三年卒)・越原さん・水田さん(ニ
十七年卒)・関さん(二十九年卒)の皆様により
お社を申し上げます。

(握 井 博 子)

会 報 第一号

発行日 昭和三十年五月二十一日

発行者 東京女子大学同窓会 教職会

発行所 東京都杉並区井荻三丁目

東京女子大学内



1955